

丹後農業実践型学舎第6期生修了式を開催

丹後国営開発農地における担い手確保と農地有効利用を目的に、平成25年丹後農業実践型学舎^{※1}は設立されました。3月9日(月)は、丹後農業研究所において第6期生3名の修了式を開催しました。

新型コロナウイルスの感染防止のため、修了生と関係者のみ計25名(うち7名は当所担当職員)による開催となりましたが、修了証書の授与、丹後広域振興局や京丹後市役所からの激励のあいさつ、修了生からは力強い決意表明がなされるなど、小規模ながらも例年に比肩する修了式となりました。

丹後農業実践型学舎は、第6期生を以て終了^{※2}しますが、学舎修了生は今後も丹後農業を牽引していきます。

※1 京都府と京丹後市の共同事業。研修拠点を丹後農業研究所内に設置。研修期間は2年間。1人あたり2ha程度の研修農地でそのまま就農できることが特徴。

※2 まとまった研修農地の確保が困難となったことから、一定の成果(修了生30名)が得られたものとして、第7期生の募集を行わず、終了することとなった。



修了式での集合写真(修了生は前列中央の3名)

農林センター(丹後農業研究所)